

2012政局

各党に聞く

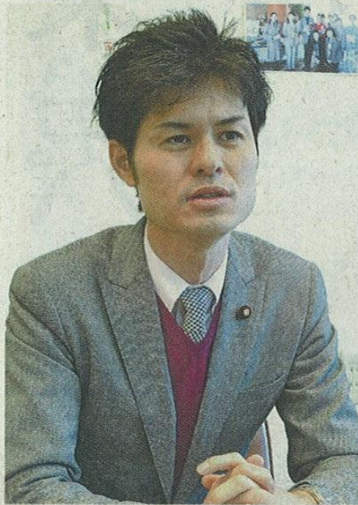
政局が大きく揺らぎながら2012年は幕を開けた。与党の民主党は消費税増税やマニフェスト（政権公約）の見直しをめぐって混乱。自民党など野党も反転攻勢の糸口をつかめていない。年内の解散・総選挙が取りざたされながら、秋には各党が対応を問われる知事選が控える。来年の参院選に向けた準備も始まる。県内各党に新年の政局展望、戦略を聞いた。

政府は消費税を14年4月に8%、15年10月に10%に引き上げる案を固めた。

今年には財政再建を議論から実行に移さねばならない。つまり医療、介護、年金、少子化対策を充実させるため、消費税増税の論議に真正面から向き合う。ただ、増税は国会議員定数と国家公務員給与の削減が大前提。また、増税しても財政再建につながるならなければ意味がない。単なる借金返済のためではなく、将来の税収増に結びつく成長戦略を描かねばならない。

今年も政局は波乱含みになりそうだ。  
1票の格差是正を含め

① 民主党県連 柚木道義代表



消費税 真正面から論議

た選挙制度改革、議員や公務員の身を削る改革は、選挙よりも東日本大震災の被災地復興、財政立っでも避けて通れない課題だ。（衆参で多数派が異なる）ねじれ国会だけに、与党は謙虚に、野党は柔軟な構えで議論を前進させる必要がある。国民も対立ではなく協力の政治を求めているはずだ。

年内に衆院の解散・総選挙があると予想する

現段階ではニュートラ

ル。知事選では4選以上市長選や知事選への対応の候補は原則推薦しないに全力を挙げる。ことになっているが、それが全てもない。また、民主党は昨年の統一政党として独自候補擁立の支持基盤をどう強化しは当然あり得る。地方の首長選は政党としての考えよりも県民、市民の目線での進ちょくが思わしく本位で考えるべきで、共党の増設は、出生率上昇や党の違いを乗り越えて支有できる部分があれば保育所待機児の4年ぶり減少に役立っている。水

来年の参院選に向けた動きも本格化しそうだが、県民や党員・サポーターの意見をしっかりと聞きながら、県連として岡山選挙区の戦略を意思決定できるよう議論を進めたい。ただ、当面は倉敷の信頼を高めた。